

さあ、一緒に！ 国勢調査員 大募集



令和7年10月1日に

国勢調査を実施します

日本に住んでいるすべての人と世帯を対象とした、最も重要な統計調査です！

5年に一度、全員参加の統計調査

国勢調査2025



地域の未来の
ために！



暮らしを
より良く変える力に！



地域の人と
話す機会に！



自分のペースで
働ける！



問合せ ■ 商工振興課 ☎ 内線402

国勢調査2025キャンペーンサイト

<https://www.kokusei2025.go.jp/>

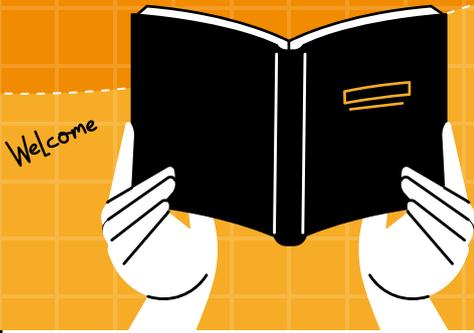
国勢調査2025

検索



らいぶらり

～暮らしの中に図書館を～



● 今月の新着図書 ●

文芸書

- * フェイク・マッスル (ひの えいたろう) (日野 瑛太郎)
 - * イッツ・ダ・ボム (いのうえ せんと) (井上 先斗)
 - * いつか月夜 (てらち はるな) (寺地 はるな)
 - * 鑑定 (やまだ むねき) (山田 宗樹)
- ほか

児童書・ヤングアダルト

- * パンドロぼうとりんごかめん(絵本) (しばた けいこ) (柴田 ケイコ)
 - * りょこうにいこう! (絵本) (ごみ たろう) (五味 太郎)
 - * 空飛ぶクルマ大研究 しくみや技術から用途・課題まで(小学校上級向) (なかの まさる) (中野 冠・監修)
 - * あいだのわたし(ヤングアダルト) (ほそい なおこ) (ユリア・ラビノヴィチ・作/細井 直子・訳)
- ほか

ビジネス・くらしに役立つ生活書・教養書

- * まるごと海藻レシピBOOK 腸活のスーパーフード (いざわ ゆみこ) (井澤 由美子・著/江田 証・監修)
 - * ハラスメントの解剖図鑑 (みやもと としし) (宮本 剛志)
 - * 専門医ママが教える! 子どものアレルギーケア (かしの とくみこ) (岸本 久美子)
 - * いちばんやさしい手話 (みなみ りゅうじ) (南 瑠霞)
- ほか

※新着資料は入荷の都合により貸出が遅れることがあります

市立図書館

☎22-0706 FAX24-4831

🏠 ホームページ <https://flib.fujinet.ed.jp/>

今月の休館日

7日(月)・14日(月)・21日(月)・
28日(月)・31日(木・月末)



第78回「読書週間」イベント 『図書館 DE クイズ』

クイズの回答用紙をカウンターに提出した方で、全問正解者のうち先着100名に粗品をプレゼント!

開催期間 10月24日(木)～11月10日(日)

読書週間期間 10月27日(日)～11月9日(土)

読書週間標語 「この一行に逢いに来た」

図書館大喜利大会『図書館IPPON!』

8月～12月まで、毎月お題をかえて実施します。詳細は応募要項を見てください。

募集期間 9月28日(土)～10月30日(水)

応募資格 図書館利用登録必須

応募方法 応募用紙に記載して図書館に提出してください。

※各回1人3つまで応募できます

応募先 図書館内応募BOX

※応募要項・応募用紙は図書館にもあります

※ホームページやメールからは応募できません



【10月のお題】

助けた亀に図書館に連れていかれた浦島太郎。帰りにもらった箱には何が入っている？



ボクは関係ないけど・・・

図書の寄贈を受け付けています!～マンガ・ライトノベル大歓迎～

地元に関係する本や読み終わった本などの寄贈を受け付けています。図書館に直接お持ちください。

【注意事項】

- ◎寄贈された本の取り扱い、図書館側に一任していただきます。
- ◎受け入れできない場合は、リサイクル(個人や公共施設などへの無償譲渡)など有効活用させていただきます。
- ◎一旦寄贈された本の返却はできません。
- ◎寄贈された本の取り扱いについての問い合わせにはお応えできません。
- ◎お断りするもの: DVD、汚損・書き込みがあるもの、古い実用書や旅行ガイド、古い事典や参考書など

♪ ロビーコンサート♪

『こころにホッとコンサート』～ヴァイオリン～

日時 10月10日(木) 午前11時

場所 市民会館1階ロビー 対象 どなたでも

出演 牛山 孝介氏

演目 愛のあいさつ、上を向いて歩こう、となりのトトロ ほか

『70年代フォークソング必聴の弾き語りライブ』～ギター～

日時 10月31日(木) 午前11時

場所 市民会館1階ロビー 対象 どなたでも

出演 伊藤 進氏

演目 闇夜の国から、妹、神田川、結婚しようよ ほか

シドモアはアメリカ人女性で、人文地理学者・紀行作家として活躍した人物です。1884年に初めて日本を訪ねてから、日本文化に魅了され、その後45年間にわたって幾度も日本を訪れました。そして、1891年に『Jinrikisha Days in Japan (シドモア日本紀行「明治の人力車ツアー」)』を出版するなど、アメリカや世界へ日本文化の魅力を発信し続けました。今もシドモアのレガシー(遺産)として受け継がれているのが、アメリカの首都ワシントンのポトマック河畔に植えられた日米友好の桜で、日本の桜をこよなく愛したシドモアの尽力により日本からアメリカに贈られたものです。現在、8000本以上の桜がポトマック河畔を彩り、春には全米桜まつり(National Cherry Blossom Festival)が1ヶ月間にわたって催され、150万人以上もの観光客で賑わいます。なお、シドモアは晩年、アメリカの日本人に対する移民差別政策に反対してスイスに亡命し、1928年にジュネーブで亡くなります。

このように日米親善に努めたシドモアが日本で最も愛した山が富士山でした。著書の中でシドモアは、アメリカから大西洋を横断して東京湾に入る時の富士山の印象を、「富士はくつきり」と青空に輪郭を描き、絶えず間なく漁船が名画の前景のごとく浮かび、麓の重なり合う丘の背後に富士が見え隠れします。夏になると、紫の円錐形が頂上付近に雪によるリボン状の白い縞模様を見せて一年中銀色に輝き」と形容し、アメリカのワシントン州の山であるレーニア山だけがこの富士山の唯一のライバルであると記しています。なお、レーニア山は富士山と同様の独立峰で別名「タコマ富士」といいます。(次号へ続く)



新倉山浅間公園から望む富士山と桜



男女共同参画会議今昔

富士吉田市男女共同参画推進

会議要綱が平成4年に制定され、今年で33年目になります。私が男女共同参画推進会議に関わって17年目になります。17年前の男女共同参画は「男女共同参画って何?」という疑問が先に立ち、基礎を築いた委員たちは、意味を理解してもらうため、男女共同参画をテーマに講演会や富士吉田フォーラムを開いたり、紙芝居、吉田音頭、吉田小唄などをもとに替え歌を作り、さまざまな工夫をして市民の皆様に啓蒙活動を行いました。

男女共同参画とは「男女共に手を取り合い助け合い、お互いに行けることを協力して行いながら、多様な人を受け入れ、誰もが能力を発揮できるより住みよい社会づくりを行っていくこと」です。その意味を理解することは大変困難です。委員になる人は、当初各種団体に依頼して推薦していただく形でなんとか20名を確保



ドン・フジ・ヒー

していました。しかし現在は、公募で委員を募集し、男女共同参画を推進したいと望んでいる人が参加し活発に活動しています。昨今の女性の活躍は目覚ましいものがあります。身近な趣味のサークル、カルチャースクールの教授、起業する人、NPOのリーダーになる人、その活躍の場はさまざまですが、圧倒的に女性の進出が目立ちます。しかしジェンダーギャップ指数は146カ国中118位と低迷しています。まだまだ自治会長、議員など中枢の役割に女性が出てきにくい環境(無意識の偏見)が根強くあります。推進会議では、これらを打開していくための冊子を新しく作りました。推進会議の議論が、男女の観点を越えて、多様な性を受け入れるジェンダーの視点で議論ができたことは、大きな進歩といえます。

今月は男女共同参画推進委員 川村克美さんに担当していただきました。



国際親善委員会からお知らせ

問合せ ■ 市民協働推進課 ☎ 24-1236

“FIFAハッピーハロウィン2024”を開催します！

市国際親善委員会では、年少以上の園児～小学3年生までの児童を対象に、ハロウィンイベントを開催します。

当日は、富士吉田商工会議所青年部主催のオータムフェスタ2024に参加しながら、ハロウィンイベントを楽しみます。市内在住外国人も参加しますので、かわいい衣装をした皆さんの参加をお待ちしています！

日時 ■ 10月20日(日)午前10時～11時30分

集合 ■ 山梨中央銀行 吉田支店

対象 ■ 市内在住の年少以上の園児～小学3年生までの児童と、そのご家族

※市内在住の外国籍のお子さんの参加もお待ちしております



定員 ■ 30名(子供の数) ※先着順

持ち物 ■ お菓子を入れるバッグ

参加料 ■ 無料

申込開始日 ■ 10月9日(水)



申し込みはこちら

“浴衣で火祭りに行こう！”を開催しました

8月26日(月)、在留外国人と国際親善委員会会員の21名が、浴衣を着て火祭りに行ってきました。今回は、「夏の風物詩・浴衣を実際に着て楽しむこと」と「神聖な火祭りの歴史や神事などを知ること」を目的に開催しました。

浴衣は、以前寄付していただいたものを活用し、会員2名が着付けをしてくれました。その後、元・世話人の会員2名から火祭りの



説明を聞き、御旅所に移動し、お神輿などを見学しました。参加した外国人の皆さんからは「説明を聞いてから見学したので、火祭りの歴史や意味を理解しやすかった」、「日本文化が好きで、初めての浴衣が嬉しかった。お祭りも楽しかった！」と感想をいただきました。

以前会員の方から、『外国人の皆さんに浴衣を着てもらう機会を作りたい』という意見があり、また事務局では『富士吉田の文化を知ってもらう機会を設けたい』という思いがあったため、この二つの思いを叶える機会として、火祭りを活用しました。今回は会員の皆さんの特技や経験をフル活用させていただき、素晴らしいイベントとなりました。今後もこのような活動を、継続して実施していきたいと考えています。



詳細はこちら

まちかど サロン



8月26日

吉田の火祭り

火を焚くことで、火(噴火)を鎮める祭りであり、富士山登山者の安全登山を感謝する、富士山とともに暮らす人々の情熱を体感できるお祭りです。



◁ 世界的ダンサー『ケント・モリ』による
ダンスパフォーマンス





**舟久保遥香選手
市民文化スポーツ荣誉章の授与
9月10日**

本市出身の舟久保遥香選手が、パリ2024オリンピックに出場し、女子57Kg級で銅メダル、混合団体戦で銀メダルを獲得しました。本市出身のアスリートがオリンピックでメダルを獲得するのは、2012年ロンドンオリンピック男子レスリング66Kg級金メダリストの米満達弘さん以来2人目になります。これに伴い、舟久保遥香選手に市民文化スポーツ荣誉章の授与を行いました。



**富士吉田市
戦没者慰霊祭
9月6日**

先の大戦などで、国のために尊い命を捧げられた本市戦没者1,055柱の英霊を慰めるとともに、追悼の誠を捧げ、その冥福を祈願するため、富士吉田市戦没者慰霊祭を挙行了しました。



**看護専門学校
フィールドワーク
9月10日**

暮らしと健康について、市内各所で計74名の住民の方々にインタビューしました。ご協力いただき、ありがとうございました。



**地域おこし協力隊事業
「fampic marché」
9月7日**



地域おこし協力隊の萩原篤志隊員が、5月に引き続き「ヴィーガン×発酵×オーガニック」をキーワードに、健康・自然に触れるマルシェイベントを開催し、約1,800人の方々に来場していただきました。

